

# DATA ツーバイフォー建築着工動向調査の結果報告

2024年度のツーバイフォー建築の着工実績のアンケート調査をまとめた、ツーバイフォー建築着工動向調査(旧名：ツーバイフォー建築自主統計調査)の結果概要をご報告します。今回は248社の会員の皆様から回答をいただきました。ご協力いただいた皆様、誠にありがとうございました。

住宅の総着工戸数は80,558戸でした。建方別内訳では一戸建て36.8%(前年度比+0.2pt)、長屋建て52.8%(同+0.2pt)、共同住宅10.4%(同△0.4pt)となり、一戸建て及び長屋建ての比率が微増しました。一戸建てにおける性能別着工構成比では長期優良住宅77.6%、建築物省エネ法基準適合住宅88.9%、品確法の設計評価住宅65.8%、ZEH関係は23.2%でした(図1)。長期優良住宅は、国の発表による2024年度の認定割合(39.3%)を今回も大きく上まわりました。

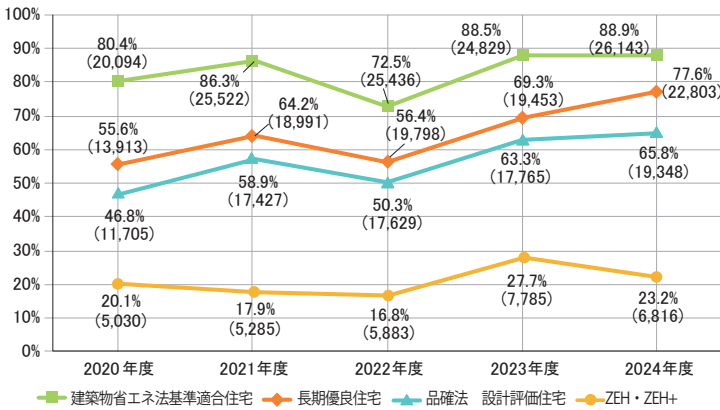
施設系建築物の総着工件数は327件でした(表1・図2)。用途別に見ると、商工業施設(152件)、医療施設(75件)、福祉施設(74件)が多く、商工業施設の内訳は店舗と事務所が引き続き多い傾向にあり、宿泊施設が倍増しました(図3)。また、「その他の商工業施設」19件の内訳は、大阪・関西万博のパビリオンや葬祭場などでした。今回も幅広い分野の建物においてツーバイフォー工法が選ばれていることを示す結果となりました。

[DATA]  
「2025年度ツーバイフォー建築着工動向調査」  
調査対象：一種正会員、建築請負を行う二種正会員／対象物件：2024年4月～2025年3月に着工したツーバイフォー工法による住宅、施設系建築物／2025年11月20日理事会報告



本調査の詳しいデータは協会ホームページの会員専用ページにて公開しています。

図1 一戸建てにおける性能別着工構成比の推移



\* 戸建て住宅の総着工戸数：2020年度 25,005戸、2021年度 29,563戸、2022年度 35,075戸、2023年度 27,904戸、2024年度 29,665戸

表1 施設系建築物の建物用途別着工件数

用途	件数	
福祉施設	特別養護老人ホーム	5件
	有料老人ホーム	28件
	デイサービス施設	6件
	グループホーム	18件
	その他の福祉施設	17件
居住系施設	寄宿舎・寮	6件
	サービス付き高齢者向け住宅	7件
保育・教育施設	保育所・園	5件
	幼稚園	3件
	学校(小中高大)	0件
	その他の教育施設	3件
医療施設	診療所(0～19床)	75件
	病院(20床超)	0件
商工業施設	事務所	41件
	コンビニエンスストア	0件
	店舗(コンビニエンスストア以外)	54件
	宿泊施設	12件
	倉庫	21件
	工場	5件
その他の商工業施設	19件	
その他	2件	
着工件数 合計	327件	

\* 複数用途の物件は主たる用途により集計

図2 施設系建築物の建物用途別構成比の推移

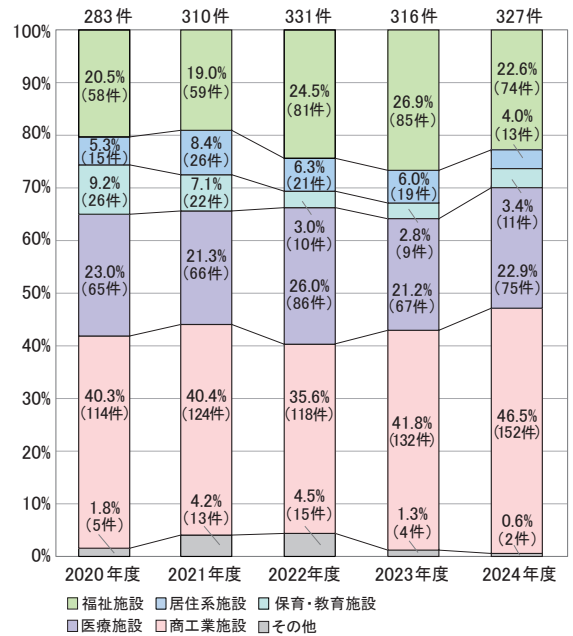


図3 商工業施設の建物用途別構成比の推移

